

平成31年外国人延べ宿泊者数の状況

速報値

市内の各観光協会および城崎温泉旅館協同組合の協力を得て、外国人延べ宿泊者数を調査したので、その結果をお知らせする。

1 外国人延べ宿泊者数調査概要

(1) 調査期間

平成31年第1四半期（1～3月）

(2) 調査方法

市内の宿泊施設を対象に、調査票により調査

2 調査結果

(1) 地域別外国人延べ宿泊者数

ア 平成31年第1四半期の外国人延べ宿泊者数は、18,192人泊で前年同期比36.7%増となった。

イ 1～2月までの全国の外国人延べ宿泊者数は、前年同期比24.9%増であったが、本市は前年同期比38.8%増となり、全国と比べても伸びている。

ウ 城崎地域は、15,587人泊で前年同期比45.3%増となった。

外国人延べ宿泊者数(市全体)

(単位：人泊)

地域	平成31年 1～3月 (ア)	平成30年 1～3月 (イ)	増減人数 1～3月 (ア-イ)	前年同期比 1～3月 (ア-イ)/イ
豊岡	1,131	1,119	12	1.1%
城崎	15,587	10,726	4,861	45.3%
竹野	45	110	△65	△59.1%
日高	1,378	1,319	59	4.5%
出石	—	—	—	—
但東	51	36	15	41.7%
	18,192	13,310	4,882	36.7%

《参考》

全国と市全体の外国人延べ宿泊者数の比較（1～2月）

(単位：人泊)

	平成31年 (ア)	平成30年 (イ)	増減人数 (ア-イ)	前年同期比 (ア-イ)/イ
全国	15,062,780	12,058,270	3,004,510	24.9%
豊岡市	12,778	9,207	3,571	38.8%

※ 全国は、国土交通省観光庁の外国人延べ宿泊者数の発表値を集計。また全国の平成31年は第2次速報(1月分)と第1次速報値(2月分)を集計した。

(2) 国(地域)別の外国人延べ宿泊者数

ア 第1四半期の国(地域)別の外国人延べ宿泊者数は、台湾が5,086人泊と最も多く、次いで中国4,143人泊、香港2,544人泊、タイ1,727人泊であった。

イ 前年との比較では、台湾が85.2%増と高い伸びを示し、実数でも2,340人泊増加した。前年同期比率、実数ともに台湾が最も高い伸びとなった。

ウ 台湾以外ではシンガポールが80.6%増、次いでアメリカが59.4%増となった。

エ 城崎地域では、台湾、香港を中心とした東アジアと、継続的にプロモーションを行っている欧州、北米、豪州が伸びている。

オ 要因としては、平成30年度の海外メディアの掲載・放送件数(雑誌、テレビ、ウェブ、新聞)が128件で、前年度と比較して72件の増。メディアFAM^(※1)件数も128件で、前年度と比較して11件の増加していることから、PR戦略の効果であると考えられる。

(※1) 観光地の誘致促進のため、ターゲットとする国のメディアなどに現地を視察してもらうツアー

国(地域)別の外国人延べ宿泊者数

(単位：人泊)

順位	豊岡市			うち城崎地域	
	国(地域)	平成31年 1～3月	前年同期比	平成31年 1～3月	前年同期比
1	台湾	5,086	85.2 %	3,951	114.7 %
2	中国	4,143	24.9 %	3,578	22.3 %
3	香港	2,544	48.5 %	2,227	61.5 %
4	タイ	1,727	8.7 %	1,605	10.8 %
5	アメリカ	824	59.4 %	789	77.7 %
6	韓国	619	22.3 %	567	14.1 %
7	シンガポール	520	80.6 %	494	93.7 %
8	オーストラリア	505	4.1 %	488	11.4 %
9	フランス	401	54.2 %	371	75.0 %
10	カナダ	262	27.8 %	248	29.8 %
	その他	1,561	△7.3 %	1,269	△15.9 %
	計	18,192	36.7 %	15,587	45.3 %

(3) 城崎地域の外国人延べ宿泊者数のシェア比較

ア 第1四半期は、旧正月(2月2日～10日)の影響から東アジアの比率が高い。

イ また、北米(特にアメリカ)の比率が高まっている。

外国人延べ宿泊者数のシェア比較(城崎地域)

	東アジア	東南アジア	欧州	北米	豪州	その他	計
平成31年 1～3月	66.7%	15.0%	6.0%	6.9%	3.3%	2.1%	100.0%
			(16.2%)				
平成30年 1～3月	62.2%	18.2%	7.5%	6.2%	4.3%	1.6%	100.0%
			(18.0%)				

外国人延べ宿泊者数のシェア比較(市全体)

	東アジア	東南アジア	欧州	北米	豪州	その他	計
平成31年 1～3月	68.5%	14.4%	6.0%	6.2%	3.0%	1.9%	100.0%
			(15.2%)				
平成30年 1～3月	62.6%	17.3%	6.8%	5.7%	3.8%	3.8%	100.0%
			(16.3%)				

《参考》

外国人延べ宿泊者数のシェア比較(全国)

	東アジア	東南アジア	欧州	北米	豪州	その他	計
平成31年 1～2月	71.1%	9.7%	3.1%	5.4%	3.9%	6.8%	100.0%
			(12.4%)				

※ 全国は、国土交通省観光庁の外国人延べ宿泊者数の発表値を集計。また、全国の平成31年は第2次速報(1月分)と第1次速報値(2月分)を集計した。

3 インバウンドの基本方針

- (1) 城崎地域は、閑散期(第2・3四半期)の需要を喚起するため、欧米豪のFIT(個人旅行)をメインターゲットにプロモーションを実施する。
- (2) 新たな取組みとして、台湾を中心とした東アジアへのプロモーションを強化する。
- (3) 市内での延泊を促進するため、城崎以外の地域のプロモーションを実施する。

4 今後の主な取組内容(平成31年度)

- (1) 台湾を中心とした東アジアへのWEBマーケティング・エージェントへの営業によるプロモーションの実施
- (2) 海の京都DMO・森の京都DMO等と連携し、豪州へのプロモーションの強化(地域の観光資源を活用したプロモーション事業)
- (3) 欧州で最も増加しているフランスと新規市場であるドイツへのプロモーション
- (4) 楽天グループ「Voyagin」と豊岡観光イノベーションと連携した体験メニューの造成